

目標達成計画

作成日:2022年 4月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 49 | 新型コロナウイルスの感染予防対策によって、外出する機会が激減している状態が3年目に突入している。 生活にメリハリが持ちにくい環境であり、この地域で暮らしていることが実感しにくい。 | 感染対策をしながらも、日々の中で楽しみを見つけられるような取り組みを行う。 | ① 散歩を希望されているご入居者には、気分転換・下肢筋力低下予防のため、隣の公園へ散歩に出かける。 ② 買い物を希望されているご入居者には、買い物同行や毎週木曜日14時からの生協の訪問販売を活用する。 ③ ドライブなど人との接触が少なく、感染リスクが低い外出事を可能な範囲で企画し実行する。(不定期) ④ オンライン面会や短時間で面会していただく機会を設け、ご家族との繋がりを感じてもらう。 ⑤ ADLの低下を防ぐ為、レクリエーションやリハビリを積極的に行っていく。 | 1年間 |
| 2 | 36 | 入居施設にて24時間生活を支援している中では、職員と入居者の関係性が近くなりがちであるが、そのことによって一人ひとりの人格の尊重やプライバシーの確保が薄れやすくなる。 | ご入居者と職員の関係が馴れ合いにならないように、より丁寧な対応と丁寧な言葉づかいを大切にす。 | ①3か月に一度ケアチェック表を用いて職員が普段の対応、言葉づかいを振り返り、見直す機会を設け、虐待や不適切なケアが無いようにする。 | 1年間 |
| 3 | 29 | 新型コロナウイルスの感染予防対策によって、外出のみならず、外部との交流が無くなっている。 | 地域との交流が途切れないよう、事業所の様子を外部へ発信する。 | ① 広報担当を中心として制作を行い、3~4か月に一度の頻度で広報誌を作成し配布する。 ② 交流スペースの貸し出しが再開されれば、地域のサークル活動にも参加していく。 | 1年間 |
| 4 | 38 | 入居者一人ひとりの生活リズムを大切にケアを心掛けているが、どうしても勤務時間内に業務を終わらせようという意識が働くことがあり、個別の暮らしのリズムに合わない時がある。 | 認知症であってもその人らしく暮らせるよう、臨機応変な対応が出来るチーム作り。 | ①勤務時間などに捉われず、出来る限りご入居者の生活リズムや希望に沿ったケアを提供する。 ② 日々の関わりの中からご入居者のニーズを引き出し、チームで共有する。職員一人一人が認知症についての知識を深め、より質の高い認知症ケアが提供出来るようになる。 | 6か月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。